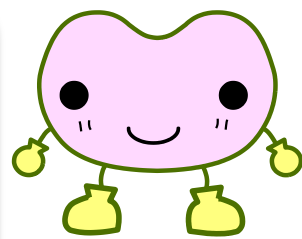


# こころん第3次地域福祉活動計画 推進NEWS 第1号(創刊号) 平成26年8月

発行：社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会



マスコットキャラクター  
「こころん」

マスコットキャラクター「こころん」は「あたたかい心で福祉のタネをまく」イメージから生まれました。

## 第3次地域福祉活動計画の推進に向けての 学習会を開催しました



平成26年5月14日(水)、「第3次地域福祉活動計画の推進(実施)に向けての学習会」を開催しました。計画策定のご指導をいただきました学識経験者、日本福祉大学学長補佐(社会福祉学部教授)の原田正樹先生をお招きし、「総合支援型社協～これからの地域福祉に求められる支援～」と題し、ご講演をいただきました。

原田先生の講演の中で、「これから求められる援助は、福祉の枠にとらわれない援助、ケアリングコミュニティをつくるのが大切である」というお話が印象的でした。

# 第3次地域福祉活動計画 推進プロジェクトチーム全体会を開催しました

平成26年6月23日（月）、第3次地域福祉活動計画（以下「第3次計画」という。）の推進プロジェクトチームを編成するために「推進プロジェクトチーム全体会」を開催しました。

今回から新たにご参加いただいた委員もいらっしゃいました。

本計画の学識経験者である、日本福祉大学学長補佐（社会福祉学部教授）原田正樹先生にもご出席いただきました。

委員のみなさまの希望するテーマごとに推進プロジェクトチームを編成しました。

（推進プロジェクトチームの詳細は、以降の記事をご覧ください。）



多くの住民のみなさまに第3次計画の推進にご協力いただいています。

# 第3次地域福祉活動計画 推進体制を紹介します

## ① 推進プロジェクトチーム（グループ）

### たまり場プロジェクトチーム

（代表：佐々木 康子 委員  
副代表：水野 悦子 委員）



第2次地域福祉活動計画に引き続き、地域の誰もが参加できるたまりの場の開設を進めていきます。

第3次計画では、たまり場に「相談窓口」（困りごとを気軽に相談できる場所）機能を付加し、地域住民一人ひとりの支援につながる場所づくりを目指していきます。

第2回のプロジェクトチーム会議は、森川委員が開設したサロン「ガーデンハウスやっちゃんち」で行いました。

## 担い手循環プロジェクトチーム

〔代表：原田 由美 委員 副代表：未定〕

推進プロジェクトチームの編成に先行して企画を進めてきました事業「医療と介護のおよこ探検隊」について事務局から委員に説明しました。

この事業は、昭和区医師会の「在宅医療連携拠点推進事業（ハナミズキプロジェクト）」の一環として、昭和区社会福祉協議会と協働して福祉教育事業を企画・実施するものです。（詳細は後述の記事をご参照ください。）



ハナミズキプロジェクトの事務局であるかわな病院の高野さん、守口さん、松田さんもプロジェクトチーム会議に参加しました。

## 防災・減災プロジェクトチーム

〔代表：小塚 勝 委員  
副代表：石塚 博幸 委員  
山本 真澄 委員〕



Shake Out 訓練を会議で体験しました。

推進プロジェクトチームの編成に先行して企画を進めてきました「家具転倒防止ボランティア養成講座」について事務局から説明しました。また、第3次計画での防災・減災関連事業を昭和区介護保険関連事業者連絡会やセーフティネット委員会など災害時要援護者に関わる機関等に説明したことも報告しました。

初回の会議では、「Shake Out」（防災訓練）を委員全員で体験しました。

## P & R グループ

〔代表：日比野 勝 委員〕

第3次計画の推進にあたり、3つの推進プロジェクトチームの他に、「P&Rグループ」を編成しました。

地域の顔見知りを増やし孤立防止などの地域福祉活動を広める活動、福祉情報紙「こころんねっと」の編集の手伝い、女性目線で昭和区の福祉を考えるなどを検討します。

また、3つのプロジェクトチームへの応援も行います。



## ②セーフティネット委員会（保健・医療・福祉の連携）

セーフティネット委員会は、保健・医療・福祉の専門職が連携して、様々な困りごとを解決していくための委員会です。

第3次計画では、セーフティネット委員会のメンバーは、昭和区の地域包括ケア推進会議の地域課題検討作業部会の委員にもなっていて、地域における様々な課題解決に取り組めます。

また、障がい分野や子育て分野の専門職もこの委員会に所属しています。高齢者だけでなく、障がい者（児）や子育てなどの分野の課題にも取り組んでいきます。

## ③事務局プロジェクトチーム（職員班活動）

事務局プロジェクトチームに職員班を編成しました。

職員班とは、それぞれの担当業務（地域福祉、いきいき支援センター、ホームヘルプ、居宅介護支援、デイサービスセンターとは別に、右記のいずれかの班に必ず所属するものです。様々な職種の職員が協力して、社協内の課題や地域の課題を解決するための活動です。

第3次計画の目標である「総合支援型社協づくり」を継続していくため、担当業務の枠を超えて、職員間の協力・連携体制を強化していきます。

班名	取り組み内容
ネットワーク班	多職種・部門間連携のためのケース検討、地域住民の参加による地域支援へのアクションの検討等
生きがい支援班	お客様のもっている強み「その人らしさ」を尊重した「誰もが誰かの力になれる地域づくり」の推進等
情報共有班	職場内の情報共有化の促進、情報収集発信、社協PR活動、ホームページ、モバイルサイトの運営等
研修班	職員の資質（専門性）の向上を図るための研修、総合支援型社協に関連する研修の企画・運営等

### ◆事務局からのお知らせ◆ ～第3次地域福祉活動計画関連事業のご案内～

#### 家具転倒防止ボランティア養成講座

日時：平成26年9月20日（土）  
13：30～16：00

※上記の他に2回の実習講義（10月）

場所：昭和消防署講堂

対象：昭和区内で家具転倒防止器具取付ボランティア活動を行っていただける方

参加費：無料

#### 医療と介護のおやこ探検隊

日時：平成26年9月21日（日）  
10：00～11：30

※上記のほかに3回（11/15（土）、1/18（日）、3/15（日）いずれも10：00～11：30）開催

場所：昭和区社会福祉協議会等

対象：小学校4～6年生の児童と保護者  
参加費：無料

発行：社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

〒466-0051 名古屋市昭和区御器所三丁目18番1号

電話 052-884-5511 FAX 052-883-2231

